

細入村の気ままな旅人の和紙人形

ここで紹介する人形の作り方は、私が試行錯誤を繰り返し、現在到達している作り方です。不十分なところもまだまだたくさんあり、これから作り方が変わるところもあると思いますが、基本形の作り方を紹介します。

1 用意するもの

① 道具



使用する道具のほとんどは、百元ショップでそろえることができます。

ハサミ、ピンセット、ものさし、ペンチ、千枚通し、ボンド、筆、色鉛筆、ペンなど

② 材料



針金（手だけで簡単に曲げられる太さ）、和紙（薄い和紙）、ハガキくらいの厚さの紙、脱脂綿、紙粘土（どんなものにもよくつく紙粘土）

その1 基本形の作り方

2 基本形の作り方（高さ12cmくらいの和紙人形）

① 部品作り



針金と脱脂綿をそれぞれの長さに切りそろえます。

頭部（3cmくらい）

足部（15cmくらい）

腕部（7cmくらい）

脱脂綿（幅1cmくらい）

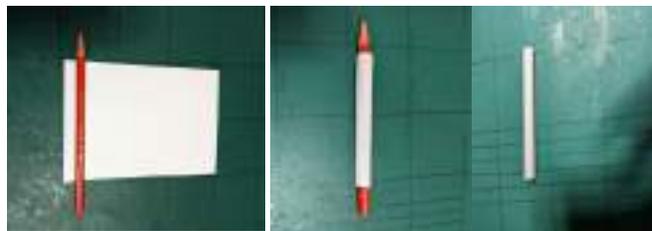
② 芯作り



針金にボンドを塗り、脱脂綿を針金に貼り付けます。

脱脂綿を巻いた針金が、頭部、足部、腕部の芯になる。

③ 胴体



胴体は、ハガキくらいの厚さの紙を鉛筆に巻き付け、長さ10cmくらいの筒状にする。

④ 足部と胴体



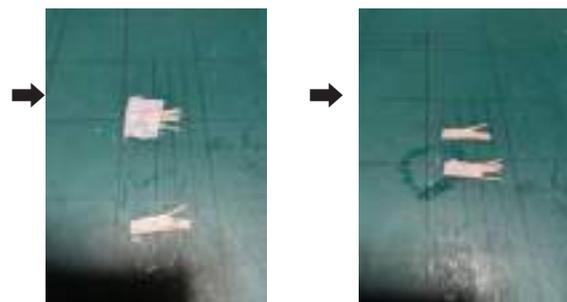
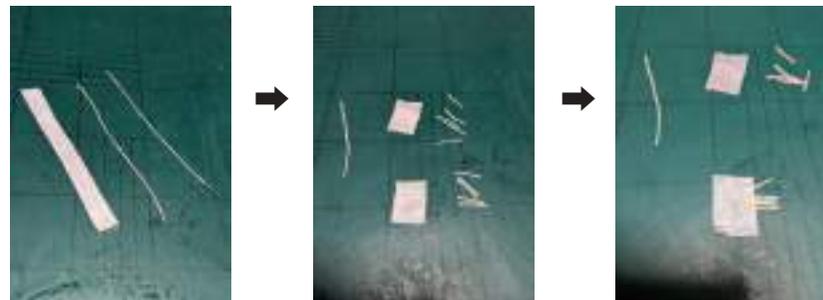
足部の針金を半分に曲げ、胴体になる筒状の紙を折り曲げて挟み込み、ボンドで貼り合わせる。

胴体、足、腕の基本部分になる。

足部の先を 1 cm ほど曲げて足先を作る。

胴体と足部が仕上がる。

⑤ 1 cm 幅の和紙にボンドを薄く塗ってこよりを作り、このこよりを 2 cm くらいに切りそろえて指の芯にする。小さな四角い和紙に、指の芯になる 5 本のこよりを手の形に貼っていく。



⑥ 腕部の針金に手を貼り、腕部を仕上げる。

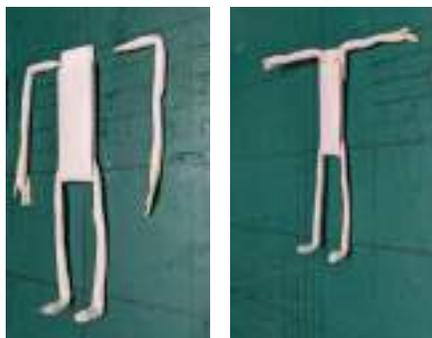


手と腕のつなぎ目は、小さい和紙を貼って整える。

⑦ 胴体、足、頭部の芯、腕の基本形



⑧ 胴体と腕の接合



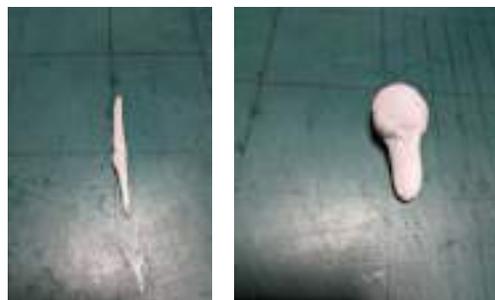
胴体部分に腕を和紙とボンドで接着する。貼る時は、腕の端を2 cm ほど折り曲げて、この部分を胴体に貼り付ける。貼る時には両腕が同じ長さになるように調節する。

⑨ 足の仕上げ



足つま先のところに細い和紙を巻いて、足先のふくらみをつけ、足の形に仕上げる。

⑩ 頭部作り



頭部の針金の芯に紙粘土をつけて頭部を作る。

⑪ 胴体のふくらみ



出来上がった胴体に脱脂綿を巻いて、胴体の太さに少しふくらみをつける。

⑫ 基本形の完成



頭部を胴体の筒に差し込んで、高さ12 cm くらいの和紙人形の基本形が完成します。